

1. 図形の作成

- (1) 「挿入タブ」→「図グループ」→「図形」クリック。
紙の中でマウスポインタが+に変わったらドラッグ。
- (2) 縦横比が同じ図形を挿入するには **Shift** キーを押しながらドラッグ。
- (3) 「図形」を選択して紙の中の任意の位置でクリック→規定の大きさの図形が挿入される。
- (4) 水平また垂直線→直線を選択し、**Shift** キーを押しながらドラッグ→線の伸びる方向が15度刻みで変わる。
ハンドルの名称
サイズ変更ハンドル 回転ハンドル 調整ハンドル

2. 図形の移動

- (1) 図形の中でマウスポインタが✚に変わった時ドラッグ。任意の位置に移動。
- (2) 水平又は垂直の移動は **Shift** キーを押しながらドラッグ。
- (3) ←↑→↓のキーで微調整。

3. 図形のサイズ変更

- (1) サイズ変更ハンドルをドラッグ。
- (2) 縦横比を保ってサイズ変更をするには **Shift** キーを押しながら4隅のサイズ変更ハンドルをドラッグ。
- (3) 書式タブのサイズグループで寸法を指定。
- (4) **Shift** キーを押しながら←↑→↓のキーで左右又は上下のサイズ変更。

4. 図形の変形

- (1) 調整ハンドルによる変形。(調整ハンドルがない図形もある)
- (2) 頂点の編集による変形。(頂点の編集で図形を変形させるとその後は調整ハンドルが表示されない)

5. 図形の回転

- (1) 回転ハンドルをドラッグ→任意の角度で回転。
- (2) **Shift** キーを押しながら回転ハンドルをドラッグ→15度刻みで回転。
- (3) 書式タブ→配置グループの回転→左右90度回転、上下左右の反転 その他の回転オプション→オートシェイプの書式設定→サイズタブ→で任意の回転角を指定。

6. 図形のコピー

- (1) **Ctrl** キーを押しながらドラッグ。(コピーと移動が同時に出来る)
- (2) **Ctrl** キーを押しながら **D** キー

7. 図形の重なり

- (1) 図形は作成順に前面に表示される。
- (2) 奥に隠れた図形の表示 一つの図形を選択し **Tab** キーを押すごとに作成された順に図形が選択される。
文字列の折り返しで前面に表示または←↑→↓のキーで見える所まで移動してクリック。
(書式タブ→配置グループの<オブジェクトの選択と表示>をクリックすると文書内にある図形が一覧で表示される)

8. 複数図形を選択

(1) **Shift** キーを押しながら図形をクリック。

(文字列の折り返しが「行内」になっている図形は複数の選択が出来ない)

9. 複数図形のグループ化

(1) 複数の図形を選択した後、書式タブ→配置グループの<オブジェクトのグループ化>をクリック。

10. 複数図形の整列

(1) 複数の図形を選択した後、書式タブ→配置グループの<オブジェクトの配置>をクリック。

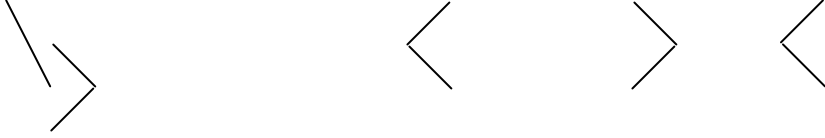
- ・ 上揃え 一番上にある図形の上端に総ての図形の上端が揃う。
- ・ 下揃え 一番下にある図形の下端に総ての図形の下端が揃う。
- ・ 右揃え 一番右にある図形の右端に総ての図形の右端が揃う。
- ・ 左揃え 一番左にある図形の左端に総ての図形の左端が揃う。
- ・ 左右中央揃え 一番左と一番右の図形の中央の位置に総ての図形が入り、縦一直線に並ぶ。
- ・ 上下中央揃え 一番上と一番下の図形の中央の位置に総ての図形が入り、横一直線に並ぶ
- ・ 左右に整列 一番左と一番右にある図形の間には他の図形が等間隔に入る。
- ・ 上下に整列 一番上と一番下にある図形の間には他の図形が等間隔に入る。

以 上

錯視の世界

参考文献 北岡明佳著 錯視入門

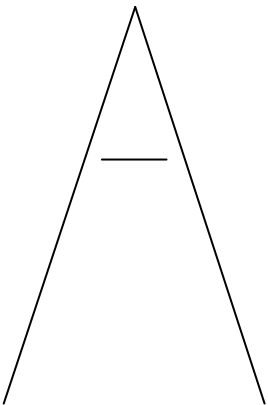
1. ミュラーリヤーの錯視



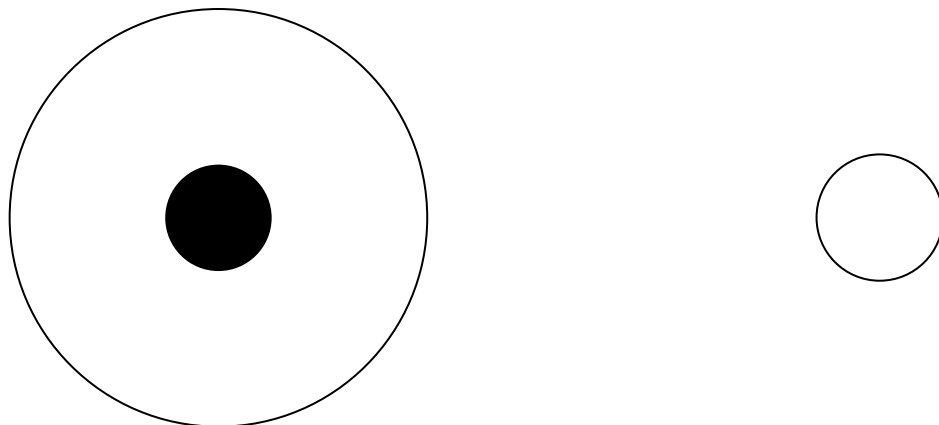
2. ボゲンドルフ錯視



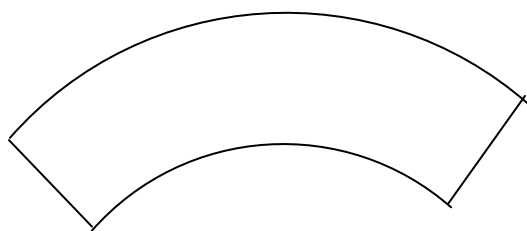
3. ボンゾ錯視



4. デルブフ錯視



5. ジャストロー錯視



6. フィック錯視



7. カニッツァの正方形

